

2025 年度

一般選抜Ⅱ期

選択科目

試験時間 9：30～11：30（120分）

1. 国語	15 ページ
2. 英語	7 ページ
3. 数学	4 ページ

注意事項

- ①試験開始の指示があるまで、問題冊子の中を見ないこと。
- ②出願時に選択した科目を受験すること。
- ③問題冊子の印刷不鮮明やページの落丁・乱丁等があった場合は、手を高く挙げて監督者に知らせること。
- ④試験終了の指示があったら、直ちに解答をやめること。
- ⑤試験終了後、問題冊子は持ち帰ることができます。

健康科学大学

健康科学部 リハビリテーション学科 理学療法学コース 作業療法学コース
人間コミュニケーション学科
看護学部 看護学科

1. 国語

※国語の問題は、全 15 ページです。

国語

1

次の文章は黒川伊保子の論説『不機嫌のトリセツ』の一節である。これを読んで、後の問い（問1～6）に答えよ。

先にも述べたけど、この世の対話には、2種類しかない。「心の文脈」を紡ぐ共感型と、感情を極力排除して「事実の文脈」を紡ぐ問題解決型である。

脳の原初的な機能に根ざした対話方式なので、日本語のみならず、英語であつても韓国語であつてもイタリア語であつても、すべての言語において、この2種類になる。つまり、二つの対話スタイルをマスターするだけで、対話の達人になれるってことだ。

脳には、「感情」で「記憶」をたどる機能がある。それを、そのまま口にするのが、「心の文脈」である。

たとえば、こんな感じ。「今朝さあ、バイト先の店長がこんなこと言うわけ。すごく嫌な感じ。だって、そんなの無理じゃない？ 私だって、一生懸命やつてるし、そもそもそれは、〇〇さんの仕事だし。で、私がこう言つたら、こう言われて……」

お気づきのとおり、脳にストレスがあるとき、女性の多くは、「心の文脈」をたどる。男性には愚痴話に聞こえるかもしれない。しかしこれ、愚痴の垂れ流しなんかじゃない。A 脳の中では、たいへん有効な演算をしているのである。

感情をトリガー（きっかけ）にして記憶を想起すると、脳は記憶を再体験する。このため、最初の体験で気づかなかつたことに気づくのだ。「そういえば、あの一言で、あの人の顔色が変わつた」とか「そもそも、あの人もつらい立場だつた」とか「私のやり方もちよつとだけ間違つてた」とか。つまり、深い気づき演算をしているのである。

逆に言えば、脳が「この度は、プロセスに気づきがあるかも。探ってみよう」と決心すると、口からは感情がこぼれ出す。ネガティブなことだけじゃない。心を動かされたことを語つていて、新しいアイデアを生み出すこともある。

感情で、過去の経緯を紡ぐこと。これは、深い気づきをもたらし脳の演算をアシストする対話なのである。

このため、「感情で記憶を語り始めた人」の話し相手のミッションは、「記憶の再体験」を手伝うことだ。気持ちよく記憶をたどつてもらうには、共感とねぎらいしかない。「そりゃ大変だつたね。きみはよくやつてると僕は思うよ」てな感じ。

もしも、とつさに頭に浮かんだのが、「きみも、〇〇するべきだつたんじゃないの？ 店長の言い分もわかるよ」だつたとしても、B それを最初に言つてはいけないのだ。まずは共感、できれば、ねぎらい。アドバイスはその後だ。大人になったら、「頭に浮かんだこと」をそのまま口にしていいわけじゃない。目の前の人の脳の動きを助ける。それが対話の第一目的だからだ。

本人が「自分にも非があつたかも」と言い出したら、「たしかに、〇〇するといふ手もあつたけど、その場では無理だよなあ」くらいに「えこひいき」してあげればいい。さらに本人の反省は深くなり、あなたへの愛が深まる。ほんとです。

ちなみに、「感情で記憶を語る人」には、共感すると話が最短で終わる。怖がらずに共感してみてほしい。

韓流ドラマを観ていると、韓流イケメンは、ちゃんとこれをする。恋人や家族に、めっちゃえこひいきをするのである。えこひいきをして、恋人の肩を持ちながらも、全体の公平性を見失わない。そういう男子だけが、ちゃんとモテている。

韓流ドラマのすごいところは、ここ。単にイケメンだからモテるわけじゃない。正義のためには命も投げ出す一方で、恋人には、その正義も少し曲げるくらいにえこひいきする。ハリウッド映画にもイギリス映画にも日本映画にも登場しないタイプの、強くてスイートな、胸きゅんヒーローたちだ。とはいえ、ヒロインのほうも、ちゃんと誠意で返して、男の正義を邪魔したりはしない。彼らは、そういう女性にしか惚れないのである。

しかも、彼らは、よく本を読み、(ア) シンユウを読む。そうして、自分の気持ちを伝えたり、彼女の気持ちを慰撫^{なぐさ}するときに、詩のフレーズを引用してくるのである。世界中の女性が、韓流に夢中になる理由がよくわかる。「えこひいき」と「ロマンティックなことは」と「強い身体^{からだ}」と「美しい顔」と「ビジネスセンスまたは権力」……女が欲しいすべてが詰まっているんだもの。

この中でも、最も女心を打つのが「えこひいき」である。つまり、共感型対話のうまさだ。韓流ドラマを観ていると、「えこひいき」と「ことは」と、そこそこのセンスだけで、美女をゲットしていく男子が、よくサブキャラで登場する。ほんと、韓流ドラマメーカーたちは、女ころをよく知っていると思う。

さて、二つの対話スタイルのうちのもう一方、「事実の文脈」について。

こちらは、すばやく状況を確認し、問題解決を急ぐための対話である。対話は、スペック確認(5W1Hの質問)か、問題点の指摘から始める。

狩りをしながら進化してきた男性脳は、「とつさに命を守る」ために、Cこちらの対話方式を採択した。森や荒野に行くときに、共感なんかしている暇はない。「きみの気持ちはよくわかる。そつちの花はきれいだものね。でもさ」なんて言っている間に、谷に落ちてしまうかもしれない。「そつち行つちやダメ」は、(イ) ソクザに言う必要がある。

さらに、感情を排除して、人の話を聞く習性もある。事実だけをすばやくつかむために。ということは、「心の文脈」のほとんどは、脳内でフィルタリング(排除)されてしまうのだ。このため、目の前の女性が何を言っているのか、皆目わからないこともある。

「思い」を語る人には共感を、「事実」を述べている人には問題解決を。対話の達人になるコツは、たったそれだけ。なにせ、一つしか対話方式はないので。

——Dそんな簡単なこと、なぜ、義務教育で教えてくれないのだろう。

ちなみに、迷ったら、共感から始めればいい。「思い」を語る人に、問題点の指摘で返すとショックが大きい。が、「問題解決」を望んでいる人に共感しても、さして不機嫌にはならないからだ。

気づきを生む「心の文脈」は、プロセス(過去の記憶や、これから起こることの想像)をたどる脳神経信号とリンクしている。命を守る「事実文脈」は、ゴール(問題解決、成果獲得)を目指す脳神経信号とリンクしている。

どちらも人類に不可欠な機能で、男女共にどちらも使える。しかし、脳がストレスを感じたと

き（不安や不満を感じたとき）、多くの女性はとっさに前者を選び、多くの男性は後者を選ぶ。すなわち、ことが（ウ）シンコクで火急なときほど、男女はすれ違ふのである。

かくして、妻の「思い」に、夫は「問題点の指摘」で答えてしまう。姑に言われた心ない一言を夫に訴えたら、「母さんにも悪気はないんだから」とだしなめられてしまったり（そんなこと妻は百も承知。ただ、慰めてはしかっただけなのに）。

妻と、隣の奥さんの間でトラブルが起こり、隣が99%悪くて、妻が1%だったとしても、「事実文脈の夫」は、「きみも、あの人を、そんなふうに（エ）チヨウハツしたらダメだよ」と言うてしまう。

目の前の問題解決から始めたほうが、命を救えるから。たとえば、腐った橋を渡ろうとしている人に、その橋を渡っちやダメ、と言うのと一緒だ。腐った橋を放置しておく行政が悪いのだが、そんなことを言っているのも、今この瞬間、目の前の命は救えないでしょう？

というわけで「きみも悪い。こうしたほうがいい」は、夫にしてみれば妻を救うための、誠実な一言なのだが、妻にしてみれば、夫が「絶対に悪い隣の奥さん」の肩を持って、自分を責めたように聞こえる。

でもね、（オ）タイコタイコの昔から男たちは、こういう対話方式で仲間と自分の命を守りつつ、獲物を担いで荒野の果てから帰ってきたのだ。そうとわかれば、夫の「ひどいセリフ」も愛しくならないだろうか。……うーん、ちょっと無理かもね。

ならば、夫たちへ。直近の命の危険がないときには、まず妻の肩を持とう（微笑）。

（本文中の小見出しを省略した。）

問 1 傍線部 (ア) ～ (オ) の漢字と同じ漢字を含むものを、次の各群の①～⑤のうちからそれぞれ一つずつ選べ。解答番号は 1 ～ 5。

- (ア) シシエウ 1
- ① 国語をガクシエウする
 - ② 作品をボシエウする
 - ③ 映画の公開をシエウリヨウする
 - ④ シエウキヨウを信仰する
 - ⑤ 雨漏りをシエウリする

- (イ) ソクザ 2
- ① アルバイト経験者はソクセンリヨクとして期待される
 - ② 自動車には法定ソクドが定められている
 - ③ オーロラがカンソクされた
 - ④ 自由をソクバクする
 - ⑤ 体操でソクテンを練習する

- (ウ) シンコク 3
- ① 新作のコクチを行う
 - ② 日直がコクバンを掃除する
 - ③ 自然災害でコクモツが被害を受ける
 - ④ イベントの開始ジコクは夕方6時です
 - ⑤ 海外旅行からキコクする

- (エ) チヨウハツ 4
- ① 富士山のサンチヨウを目指す
 - ② チヨウシヨクでパンを食べる
 - ③ ダイエットのチヨウキ目標を立てる
 - ④ ツウチヨウの残高を確認する
 - ⑤ 自己記録にチヨウセンする

- (オ) タイコ 5
- ① タイリヨク測定を行った
 - ② 夏はタイフウが多い
 - ③ タイヘイヨウの島々には豊かな自然が残っている
 - ④ 試験に受かったので将来はアンタイだ
 - ⑤ 動詞のジユドウタイを覚える

問2 傍線部A「脳の中では、たいへん有効な演算をしている」とあるが、その説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 6。

- ① たいへん有効な演算とは「心の文脈」をたどることで、ネガティブな体験を意識していること。
- ② たいへん有効な演算とは「心の文脈」をたどることで、根本的な問題を解決しようとする。
- ③ たいへん有効な演算とは「心の文脈」をたどることで、自分の感情が正しかったと確認すること。
- ④ たいへん有効な演算とは「心の文脈」をたどることで、話す内容を口にする前に一度考えること。
- ⑤ たいへん有効な演算とは「心の文脈」をたどることで、最初の体験で気づけなかったことに気づくこと。

問3 傍線部B「それを最初に言っではいけないのだ」とあるが、その理由の説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 7。

- ① 「感情で記憶を語り始めた人」の話し相手のミッションは、気持ちよく記憶を語ってもらうことであり、まず共感とねぎらいではなくアドバイスで対応すべき。
- ② 「感情で記憶を語り始めた人」の話し相手のミッションは、気持ちよく記憶を語ってもらうことであり、まずアドバイスではなく共感とねぎらいで対応すべき。
- ③ 「感情で記憶を語り始めた人」の話し相手のミッションは、気持ちよく記憶を語ってもらうことであり、いかなる場合においても共感とねぎらいで対応すべき。
- ④ 「感情で記憶を語り始めた人」の話し相手のミッションは、目の前の人を助けることであり、「頭に浮かんだこと」をそのまま口にするのではなく、一度頭の中で考えてから発言すべき。
- ⑤ 「感情で記憶を語り始めた人」の話し相手のミッションは、目の前の人を助けることであり、そこへいきなりせず対等に助言をするべき。

問4 傍線部C「こちらの対話方式を採択した」とあるが、その理由として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 8。

- ① 二つの対話スタイルのうち、「事実の文脈」を採択した理由は、ロマンティックなことばを用いた共感型対話が最も女心を打つためである。
- ② 二つの対話スタイルのうち、「事実の文脈」を採択した理由は、余計なことを話らない男性の方が、人気も高く生存競争に勝ち残れるためである。
- ③ 二つの対話スタイルのうち、「事実の文脈」を採択した理由は、状況をすばやく確認し、問題を解決することで自分達の命を守るためである。
- ④ 二つの対話スタイルのうち、「事実の文脈」を採択した理由は、感情を排除することで、相手に流されずに物事を考えることができるからである。
- ⑤ 二つの対話スタイルのうち、「事実の文脈」を採択した理由は、感情を排除することで、相手を論破できるからである。

問5 傍線部D「そんな簡単なこと」とあるが、その説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 9。

- ① コミュニケーションは、たった二つの対話方式に分けられることを知り、上手に対応すれば良いこと。
- ② 思いを語る人に、問題点の指摘をするとショックが大きいこと。
- ③ コミュニケーションは、事実を述べる人には共感を、思いを述べている人には問題解決をめざした対応が望ましいこと。
- ④ 問題解決を望んでいる人に共感しても、不機嫌にはならないこと。
- ⑤ コミュニケーションに迷ったときは、とにかく共感からはじめればよいこと。

問 6 本文の内容に照らして不適当な記述を、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は

10。

- ① 「心の文脈」で会話をする人とのコミュニケーションでは、アドバイスするよりも共感する方が会話は早く終わる。
- ② 「心の文脈」と「事実の文脈」はすれ違ふことも多いが、どちらも人類に不可欠な機能を持っている。
- ③ 「心の文脈」と「事実の文脈」は男女共にどちらも使うが、脳にストレスがかかったとき、男性は「事実の文脈」を、女性は「心の文脈」を選択しがちになる。
- ④ 韓流イケメンが世界でモテているのは、「事実の文脈」を駆使しているからである。
- ⑤ 「心の文脈」と「事実の文脈」は脳の機能に基づく対話方式なので、日本語以外の他の言語でも同様のことが言える。

2

次の文章は本田直之の随筆『ゆるいつながり―協調性ではなく、共感性でつながる時代』の一節である。これを読んで、後の問い（問1～6）に答えよ。

中略

インターネットの普及以前、90年代半ばまでの日本人の人間関係のベースには、ある種の「強制力」が働いていたと思います。それは、長く「村社会」という言葉で指摘されてきた、内向きで閉鎖的なコミュニティのあり方でした。

「地元」や「会社」、「学校」といった狭いコミュニティの中で、なにか異質な発言や行動をしてしまうと、仲間外れになってしまう。そして、仲間外れにされたからといって、そのコミュニティから容易には抜け出せないし、外部からの（ア）新参者も簡単には受け入れない――。だからこそ、異質なものを認めず、「出る杭は打つ」ということが日常的に行われていたのです。

狭いコミュニティには、その内側で繰り返されているさまざまなコミュニケーションに、「嫌だけれども、追従するしかない」といった息苦しい空気が蔓延していました。

たとえば会社で、上司や先輩から「仕事終わったら、飲みに行くぞ」と言われたとき。「今日、ちょっと用事がある……」とは、なかなか言い出せない。地元や学校で、「今度、イベントがあるから手伝って」と言われたとき。「その日、予定がある……」と気楽に断ることができない――。

しかもネットの普及以前の日本人には、一人ひとりが自律的に「外の世界を見る」という習慣が、あまりなかったように思います。

自分が所属している村社会の中はよく見知っているけれども、よその村人たちのことは見ようとも知ろうともしない。だから気にもならない。W 多くの人が「自分たちの社会こそ、スタンダードだ」と信じていたのです。

90年代半ばまでは、コミュニティがそれぞれ分断されていました。自分が所属するたった一つの会社、学校、地元で、いわば定着していたわけです。

その分断は、あえて極端にたとえば、独裁国家のようなものだったのではないのでしょうか。そういった国の人たちは、外の世界を知らないがゆえに、自分たちの日常をごく普通のことだと思っています。だからこそ、独裁者はあらゆるメディアを遮断して、国民に外の世界の様相をまったく知らせようとしません。

その挙句なにが起こっているのか。海外に派遣された人たちが次から次に「亡命」しています。外の世界を見知ったとたん、それまで普通だと信じていた自分たちの国が、実は「とんでもない国」だったと、ようやく気づくわけです。

ある意味、（イ）滑稽にさえ感じるおおげさな例ですが、ネット普及以前のわたしたちの社会を思い出したとき、果たして笑っていられるのでしょうか。

90年代後半からグローバル・スタンダードという言葉が使われ出したことに象徴されるように、

ネットを通じて世界中のさまざまな人たちの生き方を見ること、知ることができるようになったのは、わずか20年ほど前のことなのです。

わたしが社会人になったのは、ネットどころか携帯電話すら普及していなかった1991年のことです。外資系企業に就職したので、日本企業よりも「強制」を感じる機会は少なかったと思います。

それでも、社内行事や飲み会などへの参加を断ると大ごとになるという空気がありました。わたしの場合は入社して数年は会社にあわせていましたが、その後は「5時になったら退社する」と決めて行動していたので、あまり巻き込まれずにすんでいたのですが。

当時、日本企業に勤めていた大学の同級生などからは、よく「上司に誘われて行かないなんて、ありえない」と聞かされました。ただ、わたしとしては「自分がそこに行くことに、なにか意味があるのか」と考えだうえでの判断だったので、それこそ「上司に誘われただけで自動的に行くほうが、ありえない」と感じていました。

いまの会社はどうでしょうか。会社の運動会といった社内イベントじたい少なくなったようですが、あっても、社員の多くが参加しなくなっています。むしろいまは、社内イベントへの参加を社員に強制すると、会社側が「出勤扱い」にしなくてはいけないというほうが、多数派の考え方でしょう。

以前は社員が休日返上、つまり、自分の休みや残業代を会社側に差し出してまで、社内イベントの準備を手伝い、なおかつ参加しなければいけませんでした。本当は仕事の一部なのに、休日返上を当然とするような強制力が働いていたのです。

90年代半ば以前の日本企業に代表される村社会的なコミュニティは、× そのメンバーに対して「コミュニティに対する忠誠心」を求めがちです。

だからこそ、社内イベントに参加しないと「こいつ忠誠心がないな」などと上司から見られたり、「なんでお前、そんなにやる気ないんだよ」と同僚からも文句を言われたりする。白い目で見られるだけならまだしも、会社に貢献していない人として業務査定でマイナスに評価されかねなかったのです。

あの当時、「業務とは関係のない社内イベントでやる気を出しても意味がない」といって、そうした強制力に(ウ) 抗える会社員はごく少数派だったと思います。

もちろん、いつでも我が道を行けばいいわけではありませんし、能力があつて結果を出しているのであれば、単に迷惑なだけの人になってしまいますが。

とにかく、社内イベントなどに参加しない人は、変わった人としか見られず、周りから「変人」というレッテルを貼られていたのです。

そうした慣習の少ない外資系に勤めていたとはいえ、あまり社内イベントに参加しなかったわたしも、変わった奴だと思われていたかもしれませんが。ただ、不参加を続けている人は、だんだんそれじたいに誘われなくなります。わたしもそうで、非生産的なイベントに誘われなくなると、いつそ心地よく、より働きやすくなったのですが、その域に達するまでは、なかなかの勇気や覚悟が必要でした。

それでは、なぜそうしたイベントを強制する人たちがいるのでしょうか？

Y 実は彼らこそ、そのコミュニティから「排除されると困る」メンバーなのです。言い換えれば、能力よりも忠誠心で差別化をはかろうとしている人たちです。イベントの参加でメンバーに忠誠心を問うことで、集団の結束をそのつど確認しているのです。あの当時、中には前向きにイベントに参加する人たちもいたでしょうが、多くは「つき合いだから仕方ない」という、受け身的な態度だったと思います。受け身的な多くの参加者がいることで、コミュニティの強制力は成り立っていたのです。

さて、インターネットが普及した90年代半ば以降、村社会的なコミュニティの強制力は明らかに弱まっています。

ネットの中には「人生はもつと自由でいい」「社会はもつと多様でいい」といった価値観があふれています。「こんな自由な生き方もあるんだ」と驚きながら、同時にあこがれたという経験を持つ人も少なくないはずです。

その影響もあって、多くの日本人が村社会的なコミュニティの外に目を向けるようになり、一カ所に縛られないネットワークを求めるようになりました。

つまり、これまでの人間関係、人と人とのつながり方が、実は非常に強制的・受け身的であったことに、多くの人が気づいたのです。先ほど述べた会社の運動会のようなイベントが減り、参加者が少なくなったのは、その表れでしょう。

わたしとしてはここで、それまでの強制的な人間関係を「昭和的」と呼び、過去のものとして片付けたいところなのですが、Z 残念ながらそう単純ではありません。

いまでも、ほとんどの人がいくつかの狭いコミュニティに所属していて、なにがしかの強制力を感じながら日々を送っています。特に親密なつき合いやシニア世代との人間関係になると、強制的・受け身的コミュニケーションの傾向は強まるでしょう。

限られたコミュニティの中での常識や考え方、作法、序列を一度身につけてしまうと、強制的・受け身的なコミュニケーションやネットワークを、いわば「普通のこと」と考えてしまいがちです。

だからこそ、どこか他のコミュニティに入つたときも、同じような振る舞いをしてしまいます。

そして、その傾向はリアルなコミュニティに限らず、インターネット上のコミュニティでも同様なのです。

「昭和的強制のつながり」の中で生きてきた人は、強制ベースの人づき合いをネット上にも求めがちです。リアルであろうがバーチャルであろうが、その発想はたいへんほとんど変わりません。

(本文中の太字及び見出しを省略した。)

問 1 傍線部(ア)～(ウ)の表現の本文中の意味内容として最も適切なものを、次の各群の①～⑤のうちから、それぞれ一つずつ選べ。解答番号は 11 ～ 13。

(ア) 新参者

11

- ① 以前から同じコミュニティにいた人のこと
- ② 仏門に入りこれから修行を行う人のこと
- ③ 新たにコミュニティに加わった人のこと
- ④ 長い旅の途中にコミュニティに立ち寄った人のこと
- ⑤ 誰も頼る人がいない状況でコミュニティに加わった人のこと

(イ) 滑稽

12

- ① ばかばかしいとさえ思えるようなおかしい様
- ② でたらめで意味のない様
- ③ 驚きで身動きがとれない様
- ④ 状況が理解できずしつくりしない様
- ⑤ 一瞬で気持ちらが冷めてしまい興味がなくなる様

(ウ) 抗う

13

- ① 気力があること
- ② びくびくすること
- ③ 変わっていること
- ④ 従うこと
- ⑤ 逆らうこと

問2 傍線部W「多くの人が『自分たちの社会こそ、スタンダードだ』と信じていたのです」とあるが、その意味の説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 14。

- ① 多くの人が、自分たちが所属するコミュニティの中だけで生きており自分たちのコミュニティ以外を自ら知ろうとする機会や習慣がなかったため、息苦しさを感じながらもこれが普通なのだと信じていたということ。
- ② 多くの人が、自分たちが所属するコミュニティの中だけで生きていることで、次第に外の世界を見る気力がなくなってしまう自分たちのコミュニティ以外を知ろうとしなかったため、これが普通なのだと信じこもうとしていたということ。
- ③ 多くの人が、自分たちが所属するコミュニティでの生活に十分満足していたため、自分のコミュニティ以外を知ろうとする必要性を感じなかったことから、自分たちのコミュニティこそが普通なのだと信じていたということ。
- ④ 多くの人が、自分たちが所属する狭いコミュニティに不満を抱いていたが、この状況が変わることはないため自分たちのコミュニティ以外を見ないようにすることで自分たちの生活が一番よいのだと信じようとしていたということ。
- ⑤ 多くの人が、自分たちが生活している国がもつとも生活水準が高いのだと独裁者に思い込まされていたことから、他の国の人たちがどのような暮らしをしているのか見ようともせず生きていたため、息苦しさを感じながらも自分たちの国が最高なのだと信じていたということ。

問3 傍線部X「そのメンバーに対して『コミュニティに対する忠誠心』を求めがちです」とあるが、それはどうしてか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 15。

- ① 90年代半ばの村社会的なコミュニティは、社内イベントへの参加を強制することでイベントの充実を図ろうとしていたから。
- ② 90年代半ばの村社会的なコミュニティは、メンバーの業務査定を社内のイベントへの参加の有無で評価しようとしていたから。
- ③ 90年代半ばの村社会的なコミュニティは、メンバーに忠誠心を求めることでコミュニティの結束を図ろうとしていたから。
- ④ 90年代半ばの村社会的なコミュニティは、メンバーに忠誠心を求めることでコミュニティの社内イベントへ参加の強制力を強そうとしていたから。
- ⑤ 90年代半ばの村社会的なコミュニティは、メンバーに忠誠心を求めることが会社の発展につながると信じていたから。

問 4 傍線部 Y 「実は彼らこそ、そのコミュニティから『排除されると困る』メンバーなのです」とあるが、それはどういうことか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 16。

- ① イベントへの参加を強制する人たちは、自分たちが排除されることを困るため、コミュニティのメンバーの結束力を高めるためメンバーに非生産的であろうとイベントに参加させる必要があり強制力を用いて働きかけているが、かなり無理があるということ。
- ② イベントへの参加を強制する人たちは、メンバーに忠誠心があるかどうかでコミュニティの結束を確認しており、受け身的にイベントに参加し忠誠心を表してくれるメンバーがいるおかげでコミュニティの強制力が成り立っているということ。
- ③ イベントへの参加を強制する人たちは、自分たちが排除されると困るため、いずれメンバーがコミュニティの多様なあり方に気づき自由を求め始めることを想定して、コミュニティの強制的な働きかけをさらに強めていくことが必要だと感じているということ。
- ④ イベントへの参加を強制する人たちは、非生産的である社内イベントに参加しないことで働きやすくなったと感じているメンバーに対して、変わった人というレッテルを貼ることで他のメンバーが参加を拒否することを防いでいるということ。
- ⑤ イベントへの参加を強制する人たちは、インターネットの普及により外の世界に関心が向くメンバーが増えることによつてコミュニティへの忠誠心が薄れることを恐れ、強制的にイベントへの参加を促しているということ。

問5 傍線部Z「残念ながらそう単純ではありません」とあるが、それはどういうことか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 17。

- ① 強制的な人間関係の持ち方を「昭和的」と呼び、過去のことにすることは適切ではない。なぜならほとんどの人が現在も何らかの強制力を感じながら生活している一方で、他のコミュニティに所属した際はこれまでとは全く違う人間関係の持ち方ができるということ。
- ② 強制的な人間関係の持ち方を「昭和的」と呼び、過去のことにすることは適切ではない。なぜなら現在はインターネットが普及しており、若者はリアルな人間関係が薄れているがシニア世代では強制的な人間関係も大事にしようとする人がいるということ。
- ③ 強制的な人間関係の持ち方を「昭和的」と呼び、過去のことにすることは適切ではない。なぜなら現在もほとんどの人が何かしらの強制的な人間関係の中で暮らしており、今後どのコミュニティに所属しても人間関係の持ち方は一生変わらないということ。
- ④ 強制的な人間関係の持ち方を「昭和的」と呼び、過去のことにすることは適切ではない。なぜなら強制的な人間関係を求めがちな人と職場が一緒である場合、仕事上で強制的で受け身的な人間関係を強いられることがあるということ。
- ⑤ 強制的な人間関係の持ち方を「昭和的」と呼び、過去のことにすることは適切ではない。なぜなら現在もほとんどの人が何かしらの強制力を感じながら狭いコミュニティの中で生活しており、一度身につけたコミュニケーションの方法が他のどのコミュニティでも用いられるということ。

問6 この随筆の主題についての説明として最も適当なものを次の①～⑤のうちから一つ選べ。

解答番号は

18

。

- ① インターネット普及以前の日本人の人間関係のあり方は、狭いコミュニティの中で完結し強制的で受け身の人間関係であったが、インターネット普及後の新しいコミュニティにおいてもこの傾向は変わらないだろうと筆者は主張している。
- ② インターネットの普及により日本人の人と人とのつながりが変化し、それまでの閉鎖的なコミュニティでの生活から自由な生き方を求めるようになったことを喜ぶ一方で、特にシニア世代は時代の変化について行けず人間関係に戸惑いをもつのではないかと筆者は主張している。
- ③ インターネットが普及する以前は、日本人の人間関係には強制力が働いており異質なものを受け入れなかったが、現在はバーチャルでのコミュニケーションなどもでてきており自由に人と人がつながっている良い時代になったと筆者は主張している。
- ④ インターネット普及以前、人々は村社会と呼ばれる閉鎖的なコミュニティが主流で人々は限られたコミュニケーションの方法しか知り得ない環境で生活していたため、他のコミュニティでは人間関係のトラブルに発展する可能性があるかと筆者は主張している。
- ⑤ 日本人の人と人とのつながり方が変わってきており、インターネット普及以前に見られた村社会的な強制力は明らかに弱まっていることから、これからの時代は日本人らしい良き人間関係のあり方へ変わっていくことが懸念されると筆者は主張している。

2. 英 語

※英語の問題は、全7ページです。

英 語

1

次の会話（問1～問5）を完成させるために、（ ） 内に入るものを①～④のうちからそれぞれ一つずつ選べ。

問1 A: It was nice of you to invite me today.

1

B: Are you enjoying the party?

A: ().

B: I'm glad to hear that.

① Much better

③ That's better

② Couldn't be better

④ It is better off

問2 A: I'm planning to start a new project.

2

B: What kind of project is it?

A: It aims to promote a network for international exchange.

B: () !

A: Yes, now I am looking for collaborators.

① That's it

③ How exciting

② Oh, not again

④ What a bother

問3 A: Are you against my idea?

3

B: No, ().

A: I'm glad you are on board.

B: Next, I'd like to draft an action plan.

A: Sounds good.

① I'm against it

③ I'm not sure

② I object

④ I'm for it

問 4 A: How's it going?

4

B: Pretty good. How about you?

A: ().

B: All right. Let's go eat something.

A: OK.

① All the same

③ Same as always

② Same again

④ Same but different

問 5 A: I heard about a new restaurant that opened around the corner.

5

B: What kind of restaurant is it?

A: It is a seafood restaurant. Would you like to go there for lunch?

B: ().

A: Well then, let's go to our favorite Chinese restaurant instead.

① I am not too keen on seafood

③ Seafood is my favorite

② I love seafood

④ I am fond of seafood

2

次の問い（問1～問10）の 6 ～15 に入れるのに最も適切なものをそれぞれ下の
①～④のうちから一つずつ選べ。

問 1 6 in easy English, the boy likes this book.

① Written

② To write

③ Writing

④ Wrote

問 2 You should 7 the most of the opportunity.

① let

② hold

③ find

④ make

問 3 He is more sad 8 angry.

① then

② than

③ though

④ in

問 4 I don't feel 9 working today because I have a cold.

① so

② to

③ like

④ for

問 5 I don't understand is why he refused the offer.

- ① Which ② How ③ When ④ What

問 6 He is standing his arms folded.

- ① in ② with ③ on ④ at

問 7 Look at that window there.

- ① breaking ② break ③ broken ④ broke

問 8 This medicine will help you your toothache.

- ① relief ② to relive ③ relieving ④ relieve

問 9 Some students enjoy shopping, and enjoy sightseeing.

- ① others ② another ③ the other ④ other

問 10 you begin the project, you must complete it.

- ① Where ② Which ③ Once ④ How

3

次の英文（問 1 ～ 問 5）の下線部①～④のうち、誤りが一箇所ある。誤りをさがし、番号で答えよ。

問 1 ① These injustices ② must not ③ allowed ④ to happen again.

問 2 ① As he went ② up the mountain, the air ③ becomes ④ thinner.

問 3 How many ① time ② do I ③ have to repeat ④ myself before you get it?

問 4 If you ① had ② participated in the presentation, the audience ③ would ④ had taken the problem more seriously.

問 5 ① Through the exchange of opinions ② among participants, it ③ became ④ apparently that various approaches are necessary. 20

4

次の問い（問 1 ～ 問 5）について、日本文の意味に合うように与えられた語句①～⑤を正しく並べ替えて空欄に入れよ。ただし、文頭にくるべき語も小文字で示してある。解答は 21 ～ 30 に入るものの番号のみを記せ。

問 1 この新しい建物は古い建物の 3 倍の大きさがある。

This new building () (21) () (22) () as the old building.

① times ② as ③ is ④ large ⑤ three

問 2 私はそれが何なのかわかりません。

I () (23) () (24) ().

① what ② is ③ know ④ it ⑤ don't

問 3 その難しい問題を解くのに 4 時間かった。

() (25) () (26) () solve that difficult question.

① to ② four hours ③ it ④ me ⑤ took

問 4 海の匂いはデイビッドに子供の頃のことを思い出させた。

() (27) () (28) ().

① his childhood ② reminded ③ of ④ David ⑤ the smell of the sea

問 5 私も彼女もアラビア語は話せない。

I can't () (29), () (30) ().

① Arabic ② can ③ she ④ nor ⑤ speak

5

次の英文を読んで、問い（問 1 ～ 問 4）に答えよ。なお、* のついた単語には注がついてある。

The body mass index (BMI) ^(a) estimates body fat based on an individual's weight and height. It is calculated by dividing an individual's weight (kg) by the square of their height (m²). For adults, BMI categories include underweight, healthy weight, overweight, and obesity. The World Health Organization has proposed the following body mass classifications for adults.

Classification	BMI Cut-off Points (kg/m ²)
Underweight	<18.5
Healthy Weight	18.5–24.9
Overweight (including obese)	25–29.9
Moderately Obese	30–34.9
Severely Obese	35–40

Source: The World Health Organization Body Mass Index

Japan has the highest percentage of underweight women among industrial nations. A recent survey by the Ministry of Health, Labor and Welfare (MHLW) revealed that the *prevalence rate of underweight individuals is much higher among young women than older women. It is reported that one in five women in their 20s is considered “underweight.” Since 2016, the term “Cinderella weight” has *permeated through social media, and is often referred to as “model weight,” characterized by a BMI of 18. Associated with this term are standard weight (BMI = 22) and beauty weight (BMI = 20). There are ^(b)quite a few young women who attempt to reach Cinderella weight by committing to an excessive diet. In Japan, body image for women has been socially constructed to favor thinness, leading many to believe that being skinny is a desirable trait. This distorted perception of body weight and image has *spurred extreme dieting behaviors among young women, and has become a ^(c)significant social issue.

Due to these extreme diets, many young women do not eat enough, which causes various health problems.

The associated risks include:

- 1) *Infertility due to *ovarian dysfunction
- 2) A high risk of giving birth to infants with low birth weights
- 3) Increased risk of diabetes and impaired *glucose tolerance
- 4) Reduced bone density

Moreover, an excessive diet may cause skin problems, fatigue, and anemia.

Various studies have focused on underweight young women and suggested intervention ^(d)measures. Several countries, such as France, Spain, Italy, Israel, Denmark, and the United States, have conducted steps to address such issues. In fact, the fashion industry has been criticized for using extremely thin models, which encourages an unhealthy body image. Currently, the laws of several countries have banned ultra-skinny models whose BMI is < 18 or 18.5.

The MHLW has stated that effective measures based on dietary habit research are necessary; (e), no specific measures have yet been ^(f)launched. It is important to raise social awareness of this issue, especially in the fields of social media and medicine.

Acknowledging the diversity of body shapes and understanding the risks of being underweight or lacking nutrition are important. Moreover, health education should be *disseminated and enriched to include diet, exercise and sleep advice.

注) prevalence rate: 有病率 permeated: 浸透する spurred: 拍車をかける
infertility: 不妊 ovarian: 卵巣の glucose tolerance: ブドウ糖処理能力
disseminate: 広める

問 1 下線部の (a)、(c)、(d)、(f) の意味に最も近いものをそれぞれ①～④から一つずつ選び、番号で答えよ。

(a) estimate	① accurate	③ ignore	31
	② speculate	④ restate	

(c) significant	① important	③ peaceful	32
	② easy	④ difficult	

(d) measures	① calculate	③ share	33
	② scales	④ procedures	

(f) launch	① start	③ grow	34
	② complete	④ narrow	

問 2 文中 (b) quite a few の意味に近いものは次のどれか？ 35

- ① too many
- ② quite little
- ③ not many at all
- ④ a considerable number of

問 3 (e) の中に入る語は次のどれか？ 36

- ① moreover
- ② therefore
- ③ then
- ④ however

問 4 本文の内容に合致するものを次の①～⑨の中から三つ選び、番号で答えよ。ただし、解答の順序は問わない。

・ ・

- ① 体重（キログラム）を身長（メートル）の 2 倍で割ると BMI 値が算出される。
- ② 日本は先進国の中で標準体重不足の女性の割合が比較的低い。
- ③ 理想の身体像はダイエット行動とは全く関連がない。
- ④ 極度のダイエットによる栄養不良は不妊の原因となる。
- ⑤ 日本ではやせていることが美しいと考える人は少数である。
- ⑥ 過度のダイエットは骨密度を上昇させる。
- ⑦ 欧米ではモデルを採用する際に BMI 値に規定を設けている国もある。
- ⑧ 人々が体型には多様性があることを認識することは大切である。
- ⑨ 極端なダイエットやそれに伴う栄養不足の人が多いという社会現象に対し日本は様々な対策を講じてきている。

3. 数 学

※数学の問題は、全4ページです。

数 学

1

以下の各問いに答えよ。

1) $x = \frac{\sqrt{5}-\sqrt{3}}{\sqrt{5}+\sqrt{3}}$, $y = \frac{\sqrt{5}+\sqrt{3}}{\sqrt{5}-\sqrt{3}}$ のとき, $\frac{x}{y} + \frac{y}{x}$ の値は である。

2) $(x^2 + 2x + 1)(x^2 + 3x + 2)$ を展開すると
 $x^4 +$ $x^3 +$ $x^2 +$ $x +$ となる。

3) 2 次関数 $y = -3x^2 - 12x - 2$ において x の範囲を $-3 \leq x \leq 2$ とするとき, y の最大値は , 最小値は である。

4) $0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$ のとき, $\sin \theta > \frac{1}{2}$ をみたす θ の値は $^\circ < \theta <$ $^\circ$ である。

2

ある観光ツアーに参加者が10人いる。レストランで、このツアー客をグループに分けてテーブルに案内する。このとき、以下の問いに答えよ。

- 1) 10人を6人、4人の2つのグループに分ける分け方は 通りである。
- 2) 10人を5人ずつ2つのグループに分ける分け方は 通りである。
- 3) 10人を4人、3人、3人の3つのグループに分ける分け方は 通りである。
- 4) 10人の中に2人組の参加者が1組だけ含まれている。この2人を同じグループに入れる必要があるとき、10人を5人ずつ2つのグループに分ける分け方は 通りである。
- 5) 10人の中に2人組の参加者が1組だけ含まれており、この2人を同じグループに入れる必要があるとき、10人を4人、3人、3人の3つのグループに分ける分け方は、 通りである。

3

図1は四隅に塔がある広場の平面図を簡略化したものである。この広場で観測者が周囲の様子を観測する。便宜上、広場の四隅を点A, B, C, D, 各点にある塔を塔a, b, c, dと呼ぶ。なお、観測時は対象を正面にとらえるものとし、観測者の身長・塔の直径や外周・観測地点ごとの高低差は無視して良いものとする。

- 1) 観測者は点Aの地上から点Cの方向を観測した。点Cにある塔cの上空には天体観測用の気球が上がっており、点Aの地上から、ちょうど45度見上げた位置に見えた。案内人によると、本日の気球は高度80mに上がっているということだった。気球の高度と点Aからの見え方により点Aと点Cの間の距離は m である。
- 2) 点Cの観測を終えたあと、観測者は観測方向を反時計回りに60度回転させた。すると点Bが真正面に見えるようになったので観測を中断し、点Bに移動した。点AB間の距離は直線距離で50mであった。点AB間の距離、点AC間の距離、点Aから見た点B、点Cの方角を用いると、点BC間の距離は m である。
- 3) 点ABCに囲まれた領域は緑色のタイルが敷き詰められていた。緑色のタイルの部分の面積は $\sqrt{\text{ケ}}$ m² である。
- 4) 点Bから点Cの塔cを観測したあと、時計回りに30度向きを変えたところ、点Dと塔dが観測できた。その後、点Cに移動して観測を続けたが、点Cから点Bを観測したときの向きと、点Dを観測したときの向きは105度の角度をなしていた。これらより点CDの間の距離は $\sqrt{\text{シ}}$ m となる。
- 5) 点Cから塔dの先端を見上げると、見上げた角度は30度であった。このことより塔dの高さは $\frac{\text{スセ} \sqrt{\text{ソ}}}{\text{タ}}$ m である。

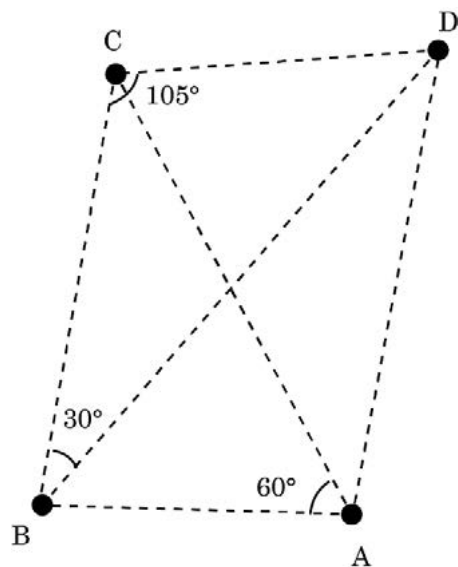


図1

4

7人の学生に国語、英語、生物、物理、数学の各教科10点満点の試験を実施した。下のデータは数学の試験の得点結果である。この結果とともに、以下の問いに答えよ。

3, 3, 5, 9, 6, 1, 4

- 1) データの分布をみるためにいくつかの値を求める。その手順を示した以下の文の空欄に当てはまる数値を求めよ。

データの値の大きさを順に並べたときに、4等分する位置にくる値を四分位数という。数学の得点データにおいて、第2四分位数は ア である。データの大きさが奇数の場合、中央値を除いて、上位・下位の2つのデータに分けることができる。分けられたデータの中央値である第1四分位は イ となり、第3四分位は ウ となる。データのばらつきの度合いを表した値を四分位範囲といい、数学の得点データの四分位範囲は エ となる。

- 2) データの分布をみるための図に箱ひげ図とよばれるものがある。数学の得点データの箱ひげ図を 記述式解答用紙 に作成せよ。

- 3) 図2は国語、英語、生物、物理の得点から作成した箱ひげ図である。前問の数学の箱ひげ図を含めて比較したとき、国語・英語・生物・物理・数学の中で、データのばらつきの度合いが一番大きい教科は オ である。また、8点以上の生徒が半数以上いた教科は カ である。空欄に入る教科名として最も適当なものを①～⑤のうちからそれぞれ選べ。

①国語 ②英語 ③生物 ④物理 ⑤数学

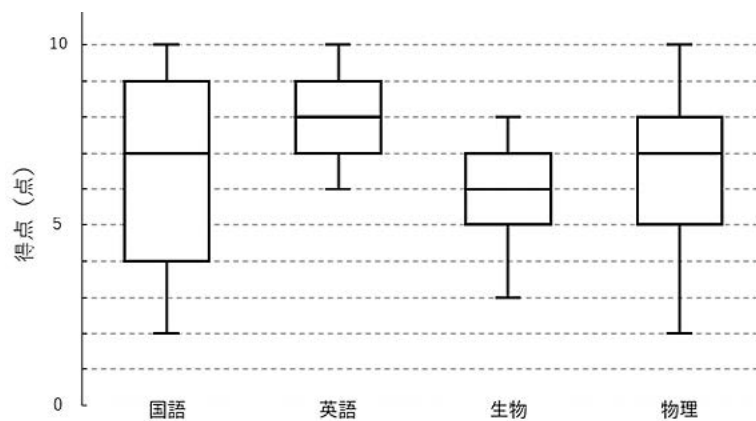


図2

※このページは空白

※このページは空白

※このページは空白